

家計状況申立書(様式1)の記入要領

最近6か月の平均収入・支出額をもとに、今後1年間の見込み額を記入してください。渡日前や渡日直後で日本での生活実績がない場合は、一般の常識的生活を維持することを前提として、見込み額を記入してください。

【収入について】

① 「定職・パート・アルバイト」

- ・定職・パート・アルバイトの収入がある場合は、直近3か月分の給与明細をもとに給与月額を計算し、給与欄に記入してください。(※直近3か月分の給与明細のコピーを併せて提出してください。)
- ・就労する予定がある場合(アルバイトを含む)は、給与月額の予定額を給与欄に記入してください。(証明書類は不要です。)
- ・留学生で、申請者本人もしくは日本在住の配偶者に年額104万円以上の給与収入がある場合は、独立生計者として申請してください。

② 「日本学術振興会特別研究員・リーディングプログラム奨励金」

- ・日本学術振興会特別研究員やリーディングプログラムに採用されている留学生は、独立生計者として申請してください。

③ 「預貯金の取り崩し」

- ・生活費として預貯金を取り崩している場合は、その月額を「預貯金の取り崩し」欄に記入してください。

【支出について】

④ 「住居費」

- ・ルームシェアをしている場合は、「ルームシェアの申立書(様式7)」に記入した月額の家賃負担額を記入してください。

⑤ 「授業料」

- ・授業料を全額支払った場合の支出を申告いただくため、授業料(月額)は**44,650円**(授業料の合計金額を12で割った金額)としてください。(法務学府、長期履修の方は金額が異なりますので、適宜修正してください。)

⑥ 「保険料」

- ・日本在住の家族がいる場合は、「1500円」を以下の金額に書き換えて計算してください。
日本在住の家族数(学生本人を含む) 2名:2,200円 3名:2,900円 4名:3,600円 5名以上:1名につき700円

⑦ 申請時点で日本での居住先が決定していない場合は、「住居費」「光熱水費」「交通費」を全て「未定」と記入してください。

申請システムへの収入・支出の入力方法(留学生)

合計(年額)が収入(②)と支出(⑤)となるように記入する事。

留学生は、太枠内の収入(②合計)と支出(⑤合計)の金額を、申請システム(留学生用P3)の収入・支出の欄に入力してください。

【申請システム】